

令和7年度 第1回理事会 第2号議案資料

令和6年度
事業報告書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

1. 翔裕園
2. 馬室たんぽぽ翔裕園
3. こうのすたんぽぽ翔裕園
4. ふきあげ翔裕園
5. 夢工房翔裕園
6. 栗橋翔裕園／ケアハウス栗橋翔裕園
7. 栗橋ナーシングホーム翔裕園／栗橋グループホーム翔裕園
8. 蓮田ナーシングホーム翔裕園
9. かわぐち翔裕園
10. しょうぶ翔裕園
11. 国見ナーシングホーム翔裕園
12. 亀岡老人福祉センター
13. 国見あおば翔裕園
14. 南方ナーシングホーム翔裕園／南方グループホーム翔裕園
15. ケアホテルすみさん家
16. たかのす翔裕園
17. くまもと龍田翔裕園
18. にしはら翔裕園
19. くにさき翔裕園
20. 元気ケアプランニングセンターさいたま

社会福祉法人元気村

令和 6 年度
第 32 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
翔裕園

令和6年度 翔裕園 事業報告

施設基本方針	
もうひとつの我が家・もうひとりの家族	
施設年度目標	
「私達の当たり前」から「利用者の当たり前」へ	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 ・ノーリフティングでは全職員まで浸透は出来ませんでしたが半分の職員は動作確認、活用方法が出来てきました。 ・個別ケアの実践では本人の希望を叶えるように多職種と協力して外出や食事などを工夫してきました。 ・アクティビティを高める事で室内にこもる事を無くして外出する機会を増やせました。特に近くの公園に足を延ばしたり、園芸を楽しむ時間を作ったりする時間を設けました。 ②組織力の強化 ・新入職員への指導方法として指導者の担当者を固定し出来る事をチェックしてお互いの認識を確認してきました。また別の職員も技術面を確認してもらい新入職員の自信につながるようになりました。 ・情報共有としてチームスを活用することで情報伝達が早くなり意見交換がスムーズにできました。 ③採用力の強化 ・採用活動としてInstagramへの投稿をし求職者へのアピールを継続しています。また即戦力になる職員の採用に向けてWEB媒体での更新を定期的に行い、写真の入れ替えやコメントを付け加えたりして検索する際に上位になるように工夫していきました。 ④生産性の向上 ・書類作成は3月にノーマンのデモを行い会議議事録の作成の短縮につながっています。特に施設ケアマネのカンファレンスには有効的で作業効率が上がりました。 ⑤収益力の向上 ・自費サービス部門では前年比から30%アップに成功。特にデイサービスでは季節に合わせた物品を販売したり、身近な生活用品を販売して高齢者世帯に合わせた品数を揃えた結果でした。 ⑥地域貢献 ・ご利用者が作成した手芸作品を特養1階の事務所前に展示したりしてご家族の来園時に見てもらえるように工夫しました。また希望者には販売して、製作者の意欲向上に繋がりました。 【全体総括】 特養の稼働率で上期は苦しみましたが、下期からは回復して前年度より大きく上昇できました。ショートは上期に感染症が流行り稼働が落ちましたが下期には回復してきました。居宅との関りを強く持てるようになってきたと思っております。通所では上期の稼働を維持できず下期は落ち込みました。職員の離職により業務に支障が出てしまい稼働が伸ばせなかったのが大きなところでした。一年を通して一度は感染症により稼働が落ちましたがそれ以降は感染症対策がしっかりできた一年と感じました。ご利用者には家族との面会も普通にできるようになり以前の生活に戻りストレスが無くなったようにも感じました。日々の施設周辺の散歩や行事も工夫をすることで普段通り実施することが出来、ご利用者の喜びに結びつき施設での生活を豊かに過ごせました。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R5 実績	89.5	91.2	90.8	92.3	96.3	95.8	96.7	96.6	92.4	90.8	94.5	94.7	93.5%
	R6 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0%
	R6 実績	93.8	93.2	93.3	93.9	95.6	97.0	99.1	99.1	96.5	96.5	97.9	99.0	96.2%
短期	R5 実績	89.2	100.5	100.8	120.1	97.3	96.7	101.5	104.6	99.3	106.7	99.7	94.3	100.9%
	R6 目標	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0%
	R6 実績	98.5	77.4	112.1	114.4	98.5	92.8	100.0	96.4	98.7	99.2	101.6	101.4	99.3%
通所	R5 実績	99.3	97.9	99.4	98.7	95.1	97.4	95.2	92.4	91.3	91.9	94.5	90.3	95.3%
	R6 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0%
	R6 実績	94.2	93.2	92.7	95.6	88.0	93.1	88.8	86.8	83.0	77.5	83.8	83.3	88.3%
爽やか通所	R5 実績	52.0	47.8	45.2	41.0	36.8	42.9	42.7	40.7	41.5	39.8	37.9	35.5	42.0%
	R6 目標	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	48.3%
	R6 実績	38.2	39.4	38.8	38.6	35.0	43.1	41.7	38.8	42.7	42.5	43.2	44.2	40.5%
居宅(件数)	R5 実績	235	226	228	228	231.5	228	229.5	228.5	228.5	230.5	215	234.5	228.6件
	R6 目標	225	225	238	238	251	251	251	251	251	251	251	251	244.5件
	R6 実績	253	254	255	261	254	252	237	233	232	223	219	220	241.1件

令和 6 年度
第 21 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

馬室たんぽぽ翔裕園

令和6年度 馬室たんぽぽ翔裕園 事業報告

施設基本方針	
ONE まむろ！	
職員同士が認め合い、尊敬しあい、笑顔になるチームを作る	
施設年度目標	
従来・ユニット・デイの協力体制を作り、 ご利用者様に生きがい、やすらぎ、笑顔を持っていただけるケアを提供できる	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 GG式ケアプログラムに取り組み、口腔ケアの質の向上を目指しシルバー認定、誤嚥性肺炎者数は昨年度より増加なし。 月替わりで居酒屋、パン屋、青空カフェを企画、選んで買う楽しさをかんじて、家族とつながり、施設内でもつながる食イベントが生活に彩りを添えることができた。	
②組織力の強化 毎月の理念研修を実施、施設内での目指す方向を意識でき、その結果ES調査でのグレンカン度11.8%UPの52.3%となる。主任・副主任の役割を明確に理解し縦ラインを意識して面談、会議を実施。現場での問題が上がりやすくなり、主任を中心としての早めの問題解決体制がつくられてきた。	
③採用力の強化 インスタの掲載頻度も上がり、施設の取り組みの発信ができています。カitek利用により、2名の採用ができた。福祉学校の実習生は多く受け入れたが、採用にはつながらなかった。対象校を広げることが必要と感じられた。	
④生産性の向上 ・3事業所での主任のつながりを強化し、業務支援をおこなうが、突発時の対応のみで、人員削減にはつながらなかった。 ・メンター会議で海外職員の育成をフォローしていき、1年目に夜勤独り立ちができています。	
⑤収益力の向上 ・特養では稼働従来97.2%ユニット95.8%で目標未達となった。営業活動が遅れていたこと、看取りへの移行がスムーズにできなかったことがあげられる。 ・通所に関しては、日曜日の利用希望者が激減して、82.2%。次年度日曜日の営業を中止にして利益のUPを目指す。中重度、サービス提供加算Ⅰの取得ができそれによる収益はUPできた。	
⑥地域貢献 出前サロンでは、小学校に出向き福祉機器業者とコラボで福祉を体験してもらえた。 翔裕園の日では、消防署とコラボし防災について地域住民に広めることができた。 敬老会では、職員による書道パフォーマンス、6年ぶりの納涼祭で家族と地域とつながることができた。	
【全体総括】 ・昨年度のES調査では、法人WORST3となるグレンカン度の低下を重く受け、理念研修を軸に職員が働きやすい職場づくり、縦のつながりを強化し、チームとしての一体感づくりに力を入れた。敬老会等の各種イベントも大きな成果を挙げ、職員間の連携、信頼関係が深まり自身が持てた事を実感できた。そして、ご利用者様にとっても大切な思い出作りに貢献できたと思う ・しかし収支面では、すべての目標達成することができず、経営的な意識と実行力の不足が加太としてあげられる。次年度は、この反省を踏まえ、目標に向けて行動力を高めていきたい。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養 (従来)	R5 実績	91.6	95.6	96.3	99.4	98.5	98.5	96.5	97.4	99.3	98.4	99.7	99.6	97.6%
	R6 目標	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.3%
	R6 実績	95.7	97.0	96.5	99.6	97.2	96.3	96.5	94.9	96.8	96.0	99.8	99.8	97.2%
特養 (ユニット)	R5 実績	97.9	97.2	98.1	99.5	99.4	96.9	96.7	97.3	95.5	98.1	98.4	97.9	97.7%
	R6 目標	98.4	98.5	98.5	98.5	98.5	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.4	98.5	98.4%
	R6 実績	97.8	97.8	95.7	98.5	98.1	94.7	95.3	91.3	94.1	94.1	95.7	97.1	95.9%
通所	R5 実績	90.2	90.1	90.5	92.0	88.6	91.0	88.5	90.0	87.4	83.6	81.0	82.7	88.0%
	R6 目標	88.0	88.0	88.0	89.0	89.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	89.3%
	R6 実績	82.0	84.5	84.9	85.0	79.1	79.8	86.0	88.4	85.3	80.0	77.0	75.0	82.3%

令和 6 年度 第 20 期 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
こうのすたんぽが翔裕園

令和6年度 このすたんぽぽ翔裕園 事業報告

施設基本方針

変化・変革でワクワクしよう！

施設年度目標

～原点回帰。介護の質を高め、選ばれる施設へ～
健康的な生活を送れるように支援をし、普通の暮らしの実現を。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・継続的な幼老世代間交流を実施。合同行事や子供達によるお誕生日会開催等。交流が当たり前なものとなった。
- ・前年対比時間外費用-30%を目標にしてきたが実績-12%。目標未達であった為、令和7年度も継続して取り組む。
- ・GG式認知症プログラムの担当者を各部署から選出して活動。認定という点では良い結果は残せなかったが、意識は向上

②組織力の強化

- ・他施設を見て、マネぶ。法人施設だけでなく他法人施設への見学を実施。学ぶだけでなく自施設の肯定化に繋がった。
- ・口腔清潔への意識を高める為に口腔ケア委員会を主体とし、意識改革を行った。口腔ケアを行う事が当たり前の支援と意識改革出来たが、質という点においては今後も課題として取り組んでいく。

③採用力の強化

- ・通年での離職率10%未満は達成。しかし、職員を思いやる取り組みという点では不十分であった。もっと出来た。
- ・法人職員と共に、大学での採用活動への参加及び施設イベントへの誘いを通年で実施。目標としていた高卒採用2名以上を達成。大卒採用においても法人に貢献。

④生産性の向上

- ・ユニットケアに関しては、ユニットリーダー実地研修の更新調査に83.5/100点で合格。ユニットケアの質を向上させる為に生産性向上を図りたかったが、行動に移せず。令和7年度の課題として今後も取り組んでいく。
- ・騎西特別支援学校とのデュアルシステムを構築。通年で継続的に実施する事が出来た。今後は人件費の削減及び障害者雇用率へ数値として繋げていく。

⑤収益力の向上

- ・全事業において目標数値未達。保育事業収入において予算を超える収益を得られた為、施設全体の収益は予算達成したが、介護保険事業収入では予算未達。具体的に目標数値を達成していく為の課題分析・行動計画・行動を行っていく。
- ・生産性向上推進体制加算Ⅱの取得は年度内で行えず。令和7年4月から算定開始。令和7年度中に上位加算を取得する
- ・訪問介護は母体施設との協力体制を構築し、訪問人件費を増やさずに訪問事業収益を上げ、訪問事業の黒字化を目指す

⑥地域貢献

- ・地域企業や団体を協働したイベントGENKIフェイスを年二回開催し、良いものを作る事が出来た。イベントを作るために、地域に出向き、知り合い、お互いを助け合うという関係性の構築に成功。一度関係構築が行えると次々に新たな繋がりが出来ていく事を体感している為、今後も活動を続け、地域に根差した施設・地域活性化に貢献できる施設としていく。

【全体総括】

- ・全体的に事業計画の甘さを痛感した一年であった。目標設定の見える化・行動実績の見える化。抽象的な設定による計画であった。令和6年度の学びを今後活かす、職員達の頑張りによる成果を施設全体で喜んでいけるようにしていく。
- ・各介護保険事業における目標稼働を達成出来なかった為、達成していく為に他事業所との差別化や頼られる事業所作りを行っていく。
- ・ES調査のグレカン度は前年対比で落としてしまったが、各部署ごとの数値を見ると向上している部署が多かった。職員がやりがいをもって働いていける施設づくりを目指し、自己都合による離職を防いでいく。
- ・今までにない地域との繋がりを構築出来た年であった。人が多く集う施設を目指し、今後も力を入れていく。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R5 実績	95.7	96.4	97.0	97.8	93.9	97.5	95.7	95.2	94.7	96.0	97.5	97.1	96.2%
	R6 目標	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5%
	R6 実績	95.9	96.1	99.6	95.9	95.8	96.6	97.0	98.3	96.4	94.2	93.6	94.4	96.2%
短期	R5 実績	100.2	98.9	98.3	101.9	106.3	98.5	106.8	100.3	109.8	99.2	100.2	107.0	102.3%
	R6 目標	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0%
	R6 実績	100.5	102.2	91.0	96.8	98.1	91.7	102.4	92.0	96.9	98.7	106.0	97.7	97.8%
通所	R5 実績	89.1	89.6	91.2	90.4	88.5	90.0	88.1	85.8	91.4	90.6	94.1	88.5	89.8%
	R6 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R6 実績	89.6	88.4	85.7	86.8	83.0	88.8	87.7	82.7	86.2	80.2	85.3	84.3	85.7%
訪問 (件数)	R5 実績	526	552	539	514	518	539	544	509	523	460	468	477	514.1件
	R6 目標	520	550	550	550	550	550	550	550	550	530	530	530	542.5件
	R6 実績	521	546	540	520	514	471	497	480	526	450	525	560	512.5件

令和 6 年度
第 8 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
ふきあげ翔裕園

令和6年度 ふきあげ翔裕園 事業報告

施設基本方針

自ら学び、想いや強みを活かして主体的に行動し、新しい形を創造しよう！

施設年度目標

- ・目標達成するために、職員一人一人が主体的に考え取り組む。
- ・自己研鑽に励み、自分や相手の良さを掛け合わせることでチーム力を上げる。
- ・施設全体で業務効率化を考え、実践する。
- ・やってみたいことにチャレンジし、サービスの質にこだわり、地域貢献へ繋げる。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・ご入居者に対しての初めての取り組みとして1日バス旅行を実現した。久しぶりの遠出を楽しまれていた様子だった。
- ・入居・通所の合同イベント開催。グループ対抗戦として、互いに親交を深められていた。
- ・他施設で行われた祭りへの参加。積極的に外出への声掛けを行い、月に1回以上の外出機会を持つことができた。

②組織力の強化

- ・各副主任が中心となり、定期的にミーティングを行い職員への情報共有を積極的に行った。
- ・各部署の繁忙時間帯を共有。業務協力体制が確立するシフトづくりを行っている。
- ・イベント開催時には部署の垣根なく業務分担・協力する体制ができた。

③採用力の強化

- ・ハローワーク、ジョブメドレーを中心に活用。
- ・インスタグラムの定期投稿継続により、フォロワー1000人を超えることができた。ご入居者ご家族・通所ご利用者からも好評。施設の知名度アップにも貢献していると考える。

④生産性の向上

- ・Teamsでの情報共有のほか、常に動く情報の共有ツールとして通所職員の配置をホワイトボードを使用した。流動的なスケジュールの把握に効果的であった。
- ・クロスシフトの徹底により、人員の余剰を出さずに勤務にあたることができた。

⑤収益力の向上

- ・各稼働率（有料96.3％、デイ89.8％、居宅44.2件、訪問介護518件）は全事業で達成し、収益目標も達成した。
- ・各事業登録がいっぱいであっても営業活動は継続して行っている。空いた枠へ迅速にご案内できるよう常に心がけている。
- ・感染症による入院者があり、入院中に介護度の重症化があったが退院後も訪問介護の介入により当施設での生活が継続できている。

⑥地域貢献

- ・11月に秋祭りを開催。地域で営業を行っている個人経営店舗の参加や保護動物の譲渡会など、より地域を意識したイベントとなった。チラシ配布地域を変更し、来所人数も確実に増加した。
- ・社協での研修講師として参加。

【全体総括】

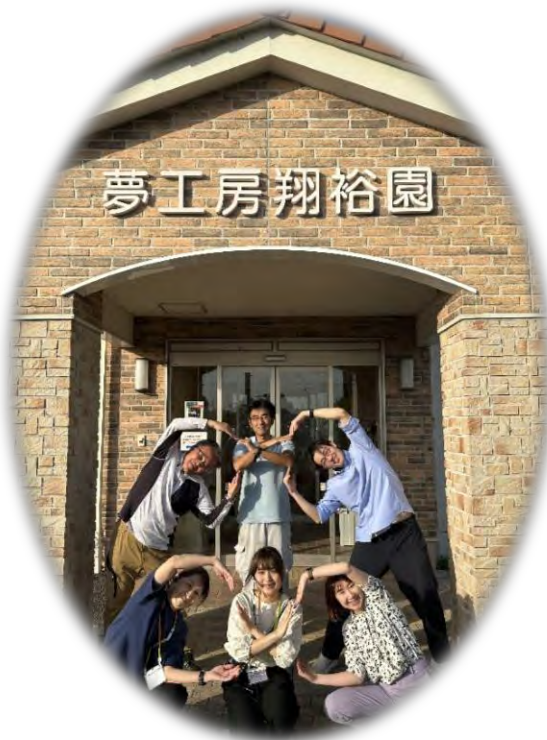
- ・年間を通し、各事業目標を達成することができた。しかしながら、退居者や欠席者への迅速な対応が遅れることもあるため、引き続きの課題としてとらえている。職員全体へ数値を意識する考え方が浸透していないためとも思われる。
- ・次年度は居宅が異動。安定した稼働を継続、向上させるため今まで以上に連携を取り合い、情報の抜け・漏れのないようにする。
- ・業務の効率化により、効率化された時間をしっかりと有効活用できている職員とできていない職員に分かれている。業務の明確化が必要。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
住宅型 有料	R5 実績	95.0	90.8	85.0	85.0	84.0	89.3	95.0	95.0	93.8	96.9	100.0	100.0	92.5%
	R6 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0%
	R6 実績	100.0	100.0	100.0	96.9	95.0	95.0	95.0	92.5	91.6	95.0	95.0	99.0	96.3%
通所	R5 実績	78.7	78.2	81.0	80.0	77.7	80.0	84.1	86.4	85.5	84.3	83.6	84.1	82.0%
	R6 目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0%
	R6 実績	85.4	87.9	90.2	88.4	83.2	88.1	86.7	85.0	87.1	85.6	87.1	87.1	86.8%
居宅 (件数)	R5 実績	38.5	37.5	38.0	41.0	44.5	43.5	44.5	44.5	42.5	43.5	43.0	44.5	42.1件
	R6 目標	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5	43.5件
	R6 実績	41.0	40.0	42.3	46.7	46.0	49.0	50.3	48.7	47.0	46.7	44.7	51.7	46.2件
訪問 (件数)	R5 実績	348.0	333.0	307.0	310.0	294.0	308.0	433.0	448.0	442.0	456.0	526.0	531.0	394.7件
	R6 目標	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0	490.0件
	R6 実績	543.0	522.0	550.0	564.0	512.0	519.0	544.0	495.0	457.0	475.0	502.0	540.0	518.6件

令和 6 年度
第 15 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
夢工房翔裕園

令和6年度 夢工房翔裕園 事業報告

施設基本方針	
就労支援サービスとして障害特性を活かした就労を実現する支援を実践する	
施設年度目標	
【就労移行支援】	利用者獲得に向け関係機関との連携強化を図る
【就労継続支援B】	生産活動を活用し利用者の職業能力開発をする
【全体】	地域資源と共に夢工房翔裕園の存在意義を示す
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値	
多機能事業所（就労移行と就労B型）の特色を活かし就労者を輩出する（移行支援3名、B型1名）	⇒ 移行支援より4名
特別支援学校と連携を強化する【2校】	⇒ 騎西・行田・上尾
②組織力の強化	
職員満足度調査	…グレートカンパニー度業界平均値以上（47.7％）を維持する ⇒ 74.4％
理念浸透	…法人内講師による施設内研修の実施、朝礼で職員クレドカレンダー毎日唱和 ⇒ 実施
③採用力の強化	
離職者	…ゼロを目指す ⇒ 1名転籍
実習生受入れ	…精神保健福祉士、社会福祉士資格取得実習生の受入れ ⇒ 1名
④生産性の向上	
営業日数	…営業日カウントできる日を最大限活用【11日間】 ⇒ 9日間実施
⑤収益力の向上	
就労移行	…GenkiGroup式収益改善プログラムを実践し、月営業件数30件。就労者を3名輩出する ⇒ 就労4名、営業40件
継続B型	…平均工賃35,000円以上40,000円を支給する（R5年実績31,000円） ⇒ 28,167円
【食品】	①法人グループ施設に商品を販売する ⇒ 販売数が伸び悩む
	②当園主催のイベント開催をする【2回／年】 ⇒ 1回 8月10日実施
	③「元気餃子」卸販売継続する【2カ所】 ⇒ 契約2件注文なし
【農園】	①いちごハウス貸切プランの継続実施 ⇒ 3,699人来園 農園年間売上 11,113,384円
	②ブルーベリー食べ放題プラン農場整備 ⇒ 早生品種購入 （2年連続1,000万円越え）
	③サツマイモ掘り体験 ⇒ 156人来園
【施設外就労】	①農福連携の一環で作業を受託する（1農家） ⇒ 2農家実施
	②鴻巣市内グループ施設の作業受託（1施設） ⇒ 法人寮環境整備
【受注】	①不備率を低減し収入増を図る ⇒ 実施
【外部販売】	①キッチンカーを活用し販売をする ⇒ 55回稼働
【地域貢献】	
①子ども食堂に餃子キットを提供し、餃子を作る楽しさと食べる喜び実感してもらう	⇒ 未実施
	②鴻巣市内グループ施設の作業受託【1施設】 ⇒ 3ヶ所実施
【全体総括】	
就労支援事業において、VR等取り入れ就労支援に取り組み4名の就労者を輩出するがその後の新規利用者の獲得に困難を極め、令和6年度をもって廃止の決断に至る。令和7年度より単独B型として就労支援機能をB型に残し、定員を6名増員し30名として再スタートする。	

年間数値目標と実績（利用率）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
移行支援	R5 実績	76.0	79.5	85.9	87.1	83.2	82.4	92.7	80.5	76.7	61.5	52.5	63.0	76.8%
	R6 目標	70.0	70.0	70.0	85.0	85.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	95.0	95.0	85.4%
	R6 実績	52.9	50.9	63.0	65.2	59.1	56.4	47.3	43.2	37.6	32.5	37.0	36.2	48.4%
継続B型	R5 実績	98.8	93.5	93.4	88.7	90.9	82.3	86.0	91.1	92.1	89.8	90.2	96.3	91.1%
	R6 目標	96.0	96.0	96.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	96.8%
	R6 実績	95.6	94.5	95.8	94.6	82.4	87.3	90.3	84.7	92.3	95.4	91.9	93.3	91.5%
総合	R5 実績	92.1	89.4	91.2	88.2	88.6	82.4	88.0	88.0	87.5	81.5	79.1	86.5	86.9%
	R6 目標	88.0	88.0	88.0	93.0	93.0	93.0	95.0	95.0	95.0	96.0	96.0	96.0	93.0%
	R6 実績	83.1	81.7	86.2	85.9	75.5	78.2	77.7	72.5	76.2	76.9	75.7	76.5	78.8%

令和 6 年度
第 31 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

栗橋翔裕園

介護付き老人ホーム栗橋翔裕園

令和6年度 栗橋翔裕園 事業報告

施設基本方針

ご利用者、地域、職員、全てを繋げる栗橋翔裕園 ～connect everything～

施設年度目標

- ・特養、通所、訪問、居宅、ケアハウスのすべてを繋ぎ合わせる組織体制の強化
- ・入院者ゼロを目指し、目標稼働を達成する。
- ・様々な地域と施設を繋ぎ合わせて、数多くの「ありがとう」を得られる施設となる

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

地域に向けた取り組みで、中学校への福祉体験講座を5月に実施しました。7月にはコロナ感染の影響もありましたが夏祭りの開催や、10月27日には翔裕園の日秋祭りを実施し、少しずつではありますが地域の方も参加できるイベント企画が開催できました。地域とのふれあいを通し、栗橋翔裕園を知って頂くことをさらに向上させていけるよう新しい取り組みにチャレンジしていきます。

②組織力の強化

課長3名と係長4名の人員配置を設定し、職員間の面談を多く取り入れMTGを開催し対応はできました。しかし組織図という観点から周りの職員への周知徹底までには至っておらず、業務改善などを見直すまでには至っておりませんが、考えの変化や希望など課長・係長・主任・副主任を中心に変化が生まれております。特養では看護体制のオンコールを廃止したことで看護の負担が軽減されたり、医務課の往診の順番を変更したことで業務の効率化が図れています。

③採用力の強化

採用活動の一環として今年度はカitekの活用を中心に対応しました。栗橋の現状をまず知って頂くために短い時間でも働いて頂くことでその場の雰囲気や環境面を確認し働いても安心あと思える取り組みを実践しています。今年度、カitekから3名の職員を獲得することができ効果的な手段が増えたことはプラス材料となっております。今後は、全員人事制度をさらに強化し一緒に働ける取り組みを検討していきます。

④生産性の向上

見守りライフや防犯カメラ機能も転倒対策の一環として原因や課題等が見直しています。今後シフト作成の残業時間や人員配置などを細かく分析し、職員一人一人の動きを確認して必要である所、ない所などを確認し、AI機能を搭載しながら取り組んでいきます。

⑤収益力の向上

8月より特養にて療養食加算と個別機能訓練加算Ⅱを算定開始しました。7月より介護付き老人ホーム栗橋翔裕園と名称変更し、チーム久喜の営業会議も効果があり空床ベットがない状況が維持できました。まだまだ取れる加算がありますので、常に意識し収益向上を目指します。また、役職者と経営状況の分析や営業活動の必要性なども共有していきます

⑥地域貢献

久喜市で開催された提燈祭りに特養のご利用者も参加し、栗橋翔裕園の地域交流の取り組みの一環としております。また、秋祭りには保護犬 譲渡会を初めて開催し、癒しとなる企画が地域の皆様に喜んで頂けたきっかけとなりました。今後も地域のイベント行事に果敢に参加し、栗橋翔裕園を知ってもらう活動を実施していきます。

【全体総括】

4月より大幅な人員の入れ替えがありました。上半期としてはうまく軌道に載せるまで時間がかかりました。管理者としての初めての采配等もあり、まずは誰よりも栗橋翔裕園を知っている職員と協力することでその職員の潜在能力を引き出し、他職員へのモチベーションアップに繋げることができました。ただ、営業活動においてはまだまだ課題が残されている部分がありますので、まずは人に合うこと地域と関わる企画を多く実施することで職員のやりがいに繋げていきたいと考えてます。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R5 実績	96.6	94.3	91.9	95.1	91.8	92.2	94.8	96.0	95.1	95.1	94.2	94.6	94.3%
	R6 目標	96.0	96.5	96.5	96.0	96.0	96.5	96.5	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.2%
	R6 実績	96.4	96.7	96.9	92.7	96.1	97.2	94.8	96.3	93.6	89.2	88.6	90.8	94.1%
短期	R5 実績	106.0	117.7	128.0	121.0	123.5	118.0	114.2	119.0	106.8	114.2	110.3	115.5	116.2%
	R6 目標	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5	105.5%
	R6 実績	111.3	115.8	105.9	117.4	101.6	103.0	116.4	113.3	95.2	110.7	125.0	121.6	111.4%
通所	R5 実績	91.3	87.0	85.9	87.5	83.5	88.8	89.4	90.2	88.1	90.2	90.6	88.6	88.4%
	R6 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0%
	R6 実績	92.1	85.9	85.5	88.0	87.4	90.5	90.1	92.1	92.6	91.8	91.5	91.4	89.9%
軽費	R5 実績	95.6	90.8	87.5	91.5	91.5	92.4	90.3	91.1	95.6	88.5	90.6	89.2	91.2%
	R6 目標	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5%
	R6 実績	89.8	95.0	95.9	95.8	97.1	99.1	99.1	94.3	92.6	90.9	95.0	94.4	94.9%
訪問 (件数)	R5 実績	339	335	378	343	333	263	297	276	311	316	342	341	322.8件
	R6 目標	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320.0件
	R6 実績	349	340	309	268	263	250	339	279	283	284	239	248	287.6件
居宅 (件数)	R5 実績	120	125	129	135	128	131	130	128	123	133	123	133	128.2件
	R6 目標	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130.0件
	R6 実績	123	121	124	121	121	122	118	125	132	134	140	135	126.3件

令和 6 年度
第 26 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
栗橋ナーシングホーム翔裕園
栗橋グループホーム翔裕園

令和6年度 栗橋ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針	
・地域共生社会の実現。 ・地域ニーズに応える楽しい老健へ	
施設年度目標	
・施設内活動では多くのアクティビティーを実施、ご利用者共に楽しむ環境を構築。 ・地域へ向けた活動では、『地域へ出向く活動』『地域の方を招く活動』を実施。 ・施設と地域との連携・協業を目指す。	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 差別化の取り組みでは、従来の老人保健施設からの脱却、『老健でも楽しい時間を』目標に取り組みを行ってまいりました。老健としてリハビリ機能を活かした差別化として、これまでのセラピストを中心としたリハビリより、令和6年度ではパワーリハビリ機器を導入、ご利用者の余暇時間にも、自由にリハビリを楽しめる環境を構築、リハビリが日々の楽しみとなるようアクティビティーに繋げ取り組みを行って参りました。	
②組織力の強化 組織力の強化では、全ての職員が同じ目的意識を持ち、組織力の強化へと繋がるよう、クレド研修の実施と、部署間の連携を目標とし、取り組みを行って参りました。実績では、クレド研修、対チーム前・後編、対個人前編を実施し、施設職員へ周知してまいりました。目標としては、対個人後編の実施までを予定しておりましたが、年末からのコロナ感染により目標未達成、令和7年度への持ち越し課題となりました。	
③採用力の強化 採用力の強化では、インスタグラムを活用し、施設の魅力を知って頂くことで採用に繋げ、また全員人事の周知強化により採用力の強化を図って参りました。インスタグラムの活用では、週4回を基本とし情報更新、結果として常勤職員1名の採用につながりました。また、全員人事では、介護職員1名獲得。更には、全員人事の対象外とはなりますが、職員の声掛けにより、不定期でのスポットパート職員を4名獲得となりました。	
④生産性の向上 生産性向上では、業務の見直し、ICTの活用を掲げ取り組みを行って参りました。業務の見直しでは、重複した業務の整備を行う事で効率化を図り、役職者の業務負担軽減では、新規役職者を増員し対応、結果として、時間外勤務の減少、介護課上期月平均時間外105時間に対し、下期では74時間へ減少。ICTの活用では、令和7年度に向けた見守り機器の選定、通所では送迎アプリの導入により生産性の向上へと繋げております。	
⑤収益力の向上 収益力向上では、稼働目標の必達、老健での在宅強化型算定維持、報酬改定への順応と掲げ取り組みを行って参りました。稼働目標では老健・GH共に未達、通所では目標達成、居宅では、12月より主任ケアマネが不在となり、減収となっております。在宅強化型の算定維持では、年間に目標を達成、また6月・9月には超強化型施設として追加加算を算定、増収へと繋がっております。	
⑥地域貢献 地域貢献では、栗橋ナーシングホーム翔裕園が地域資源となるよう取り組みを行って参りました。地域へ出向いた取り組みでは健康講座や健康支援活動を毎月実施、地域の方々やご家族を施設へ招く取り組みでは、納涼祭・敬老祝賀会・翔裕園の日・地域花火大会への貢献・スカイランタンフェス・イルミネーション見学など、様々な企画を実施し、多くの方々に楽しんで頂きました。	
【全体総括】 令和6年度では、地域との関りを大切に取り組みを実施し、多くの方々に施設へ足を運んで頂き、栗橋ナーシングホーム翔裕園を知って頂く年度となりました。施設内での取り組みでは、事業計画を基に取り組みを行って参りましたが、稼働状況では厳しい結果となりました。またES調査におきましてもグレカン度、前年度比-13.6%、平均値と比較しても-5%と改善課題が浮き彫りとなりました。令和7年度では、理念への共感や職員の満足度向上、組織の再構築、部署間の連携などの改善を事業計画へ繋げ、取り組みを行って参ります。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R5 実績	94.7	93.5	92.5	94.7	97.2	97.2	96.0	95.8	97.7	96.0	91.4	95.6	95.2%
	R6 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R6 実績	95.8	95.2	93.5	97.6	97.1	94.8	93.8	93.9	94.6	94.4	89.5	89.7	94.2%
通所	R5 実績	91.7	93.9	96.4	95.9	92.1	95.0	90.6	94.3	94.1	95.6	97.5	93.3	94.2%
	R6 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R6 実績	90.7	94.3	97.4	92.4	91.5	90.0	92.9	95.3	95.1	98.4	96.3	93.2	94.0%
グループホーム	R5 実績	87.1	90.5	91.4	88.7	89.8	96.4	100.0	97.0	88.5	85.1	92.3	91.9	91.6%
	R6 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0%
	R6 実績	97.4	100.0	96.1	90.1	89.6	90.1	89.6	94.4	92.3	87.2	93.1	89.7	92.5%
居宅(件数)	R5 実績	107.0	110.0	109.0	114.0	110.0	109.0	112.0	113.0	111.0	109.0	107.0	107.0	109.8件
	R6 目標	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0件
	R6 実績	101.0	101.0	98.0	99.0	98.0	92.0	95.0	99.0	96.0	96.0	106.0	108.0	99.1件

令和 6 年度
第 29 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
蓮田ナーシングホーム翔裕園

令和6年度 蓮田ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針

トライの先には未来が生まれる

施設年度目標

笑顔あふれる魅力ある職づくり

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

農園活動は今年度も継続し、前年度より畑の面積を拡大しご利用者とも一緒に作業を行いました。芋ほりなどは地域の方やご家族にも参加していただいたり、実った作物の販売も行い、好評をいただきました。

今年度も行政と連携し、在宅介護教室や小中学校での車椅子体験、中学校での職業説明会、GG式認知症ケア講習会など、多数の地域向けの講習を開催しました。参加者の皆様からも好評をいただいております。次年度に繋がる取り組みができました。

②組織力の強化

今年度もクレド研修を実施し、ES調査において目標である理念・ビジョンへの共感度55%を達成(56.3%)し、グレカン度でも55.2%と法人の平均を大きく超えることが出来ました。高齢者介護研究会においても優秀賞を取ることができ、アワードでも優秀施設として表彰を受けることが出来ました。反面、介護職員による居宅ケアマネ体験に関しては施設でのクラスター発生等もあり、実施することが出来ませんでした。次年度への課題となっております。

③採用力の強化

今年度も社会福祉士、介護福祉士、リハビリ職の実習を積極邸に受け入れ、実習期間中だけでなく、大規模イベントでのボランティア活動を通して介護・福祉の魅力の発信に努めました。当施設で実習した学生の新規採用も決まっております。採用面接でも管理者だけでなく面接をやめ、希望職種の職員も同席することで、より身近な情報を提供するように努めました。今年度は高齢や定年、ご逝去などもあり、例年以上に退職者が出てしまいましたが(15名)、新たに18名の採用をすることが出来ました。

④生産性の向上

今年度はAI議事録作成ソフト(norman)を3月に導入しました。今まで一会議あたり30分～1時間程度かかっていた議事録作成が5分程度で出来るようになり、全体では大幅な時間削減が達成できることがわかりました。施設での会議だけでなく、居宅においては担当者会議等の訪問先でも使用することが可能になり、大幅に業務の効率化を図れるようになりました。

⑤収益力の向上

老健においては稼働率、強化型の維持等目標は達成し、今年度は4ヶ月間ですが、初めて超強化型を算定することができ、大幅に収益が向上しました。通所リハにおいては前年度の実績を超えることは出来ましたが、当初の目標には届かず、未達となりました。居宅においては、蓮田市域のケアマネジャーの不足が続いており、当施設でも受け入れ可能上限人数で常に推移している状況です。訪問リハビリに関しては、老健を優先するというスタンスで行っており、現状維持にとどまっております。

⑥地域貢献

上記の地域向けの講習会等への参加や主催に加え、翔裕園の日のイベントでは地域の介護用品事業者と連携し、福祉機器展を今年度も開催しました。それに合わせて講習会の開催やイベントを企画し、前年度より多くの集客を達成できました。

【全体総括】

地域の方に向けた講習会等に多く関わることができた一年となりました。微力ながら介護職やリハビリ職、栄養士や相談員といった幅広い職種で、それぞれの分野で地域へ貢献できたと思っております。また参加する職員にとっても良い勉強の場であり、今年度は今まであまり関わらなかった職員が中心となって参加したことにより、大きな成長につながったと感じています。次年度以降も積極的に参加、主催し、地域貢献と共に職員の成長の場としたいと考えています。

次年度は大幅な体制の変更があり変化の年となります。収益を維持しつつ、過去に捉われずに新たなことに挑戦していく一年したいと思います。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R5 実績	94.8	92.5	92.9	95.9	97.0	95.2	96.0	95.4	96.7	96.8	87.8	93.1	94.5%
	R6 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R6 実績	93.9	96.3	97.5	94.6	95.7	96.8	95.8	94.3	93.1	93.5	95.0	93.0	95.0%
通所	R5 実績	88.4	85.9	85.5	84.7	86.6	85.6	88.1	95.3	87.8	88.2	89.0	85.1	87.5%
	R6 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R6 実績	88.9	90.6	87.9	86.8	86.5	91.0	90.5	90.4	88.1	86.8	86.5	89.6	88.6%
居宅 (件数)	R5 実績	210.0	208.0	206.0	208.0	210.0	208.0	203.0	212.0	211.0	213.0	209.0	209.0	208.9件
	R6 目標	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0	180.0件
	R6 実績	200.0	199.0	206.0	208.0	192.0	201.0	204.0	204.0	205.0	197.0	197.0	199.0	201.0件
訪リハ (件数)	R5 実績	166.0	182.0	174.0	160.0	176.0	168.0	187.0	192.0	191.0	193.0	189.0	189.0	180.6件
	R6 目標	150.0	150.0	150.0	155.0	155.0	155.0	160.0	160.0	165.0	170.0	180.0	180.0	160.8件
	R6 実績	158.0	154.0	152.0	148.0	136.0	134.0	132.0	126.0	124.0	114.0	102.0	68.0	129.0件

令和 6 年度
第 16 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
かわぐち翔裕園

令和6年度 かわぐち翔裕園 事業報告

施設基本方針

「その人らしい暮らしの実現」
～未熟な面の更なる前進～

施設年度目標

- ・介護報酬改定による新規加算算定
- ・外国人雇用率10%に向けた受入れ態勢の確立(3年後目標達成)
- ・職員インセンティブ活動によるモチベーションUP
- ・ユニット協力体制による取り組み(業務、行事活動など:テーマ「笑いと挑戦」)
- ・地域活動による貢献

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・稼働率97.0%維持のため事故防止による入院者減少延べ694日(2.5%/日→1.9%/日)今後は転倒骨折を0にすべく対応していく。
- ・行事活動は毎月家族に声をかけていった。誕生日会は毎月開催出来た。外出・外食行事も家族の参加が増えてきている。
- ・今年度喀痰吸引資格者4名取得達成。今後も加算維持、技術向上の為資格取得継続していく。

②組織力の強化

- ・今年度より、その月に行えた事をリーダーが会議にて報告行った。ユニット会議・ユニット通信など今まで出来ていなかったユニットも行えるようになってきている。
- ・親睦会開催(入職歓迎会、異文化食事会、資格取得祝い、各部署慰労会、かわぐちAWORD)各種親睦会を開催する事が出来た。離職率低下にもつながっている。

③採用力の強化

- ・外国人採用を見据えた採用として今年度4名入職。4月に入職した職員は順調に成長し、夜勤までをこなせている。10月から入職した職員も半年を目安に夜勤が行えるよう指導を行っている。
- ・派遣職員0名を目標にしていたが、退職や出向もあり、達成出来ず。新年度8月頃に派遣0となる予定。
- ・夜勤専従、ナイトケア職員を採用。フルシフトの職員だけに頼らない体制作りを継続していく。

④生産性の向上

- ・各協力ユニットで常勤8名、非常勤職員1名配置を基準に営繕職員採用(人件費率60%以下)→57.5%で達成。
- ・専門職員以外でできる業務精査による効率化を検討。洗い物やリネン交換は介護補助の職員がメインで回ってもらい効率化を行った。

⑤収益力の向上

- ・(特養)稼働率97.0%以上確保のため待機者確保に関してはショートステイと連携をし、退所後すぐに入居出来る体制を整える事は出来たが、入院者の削減を行うことが出来なかった。
- ・(短期)空所もうまく利用し109.7%を達成。安定稼働を年間通して行えた。
- ・(通所)稼働率93%を達成。バイキングや外出のレクリエーションは安定して集客出来るイベントとなった。また、土曜日の稼働がやや低迷している。

⑥地域貢献

- ・子育て世代も働きやすい取り組みとして長期休み時の同伴出勤をスタート。複数の職員が子連れ出勤を行い、利用者、職員とも好評を得た。今後はさらに拡大出来るよう活動していく。
- ・地域貢献の一環としてショートステイの中庭をドックランとして開放。利用者家族だけでなく、近隣住民も利用してくれている。

【全体総括】

前年度に比べて各事業所ともに稼働は増加しているが、特養は目標未達となった。年間通して極端に低下した月は無かったが、骨折年4件あり、その入院が無ければ目標達成出来たと思われる。未然に防ぐ対策を強化していく必要がある。また、居宅も職員が退職してしまった為、未達となっている。新年度より居宅ケアマネ入職。費用面では、クロスシフトを軸として、時間外の出ないシフトの作成を行う事により経費削減につながることもできた。ただ、派遣社員が予定していたよりも継続を余儀なくされ派遣費が増加してしまった。外国人職員10%に向けた受入れの確立に向けて、今年度4名の外国国籍の職員入職。マニュアルを軸としながらも、個人に寄り添った教育を行っている。子育て世代が働きやすい取り組みとして夏休みなど、長期休みに同伴出勤を可能とし、多くの職員が利用していた。今後も同伴出勤の幅を増やしていく方向。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R5 実績	96.3	96.0	97.0	97.1	96.8	96.2	97.1	96.1	96.5	93.1	94.9	98.4	96.3%
	R6 目標	96.5	96.5	97.0	97.0	97.5	97.5	97.5	97.0	97.0	96.5	96.5	97.0	97.0%
	R6 実績	96.5	96.2	96.5	97.7	97.6	97.7	97.2	97.6	96.5	96.6	96.6	96.0	96.9%
短期	R5 実績	113.3	101.6	102.0	107.4	106.8	108.0	103.3	110.7	114.8	109.7	107.9	101.9	107.3%
	R6 目標	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5	103.5%
	R6 実績	109.7	114.2	106.7	107.1	106.8	107.0	108.1	109.0	105.4	103.2	116.1	122.9	109.7%
通所	R5 実績	86.9	88.3	89.9	96.8	93.3	98.0	95.1	91.5	92.9	90.1	90.4	85.9	91.6%
	R6 目標	92.0	92.0	92.0	93.0	93.0	93.0	93.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.3%
	R6 実績	89.5	94.7	96.9	95.7	90.2	93.8	89.9	94.2	92.0	94.4	93.8	93.5	93.2%
居宅 (件数)	R5 実績	104.0	99.5	100.0	105.5	110.5	114.5	113.0	120.0	117.5	111.0	109.5	113.0	109.8件
	R6 目標	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0件
	R6 実績	113.0	119.0	122.0	121.0	91.0	90.0	84.0	91.0	88.0	87.3	82.0	85.0	97.8件

令和 6 年度
第 7 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
しょうぶ翔裕園

令和6年度 しょうぶ翔裕園 事業報告

施設基本方針	
「敬天愛人」	
施設年度目標	
「天を敬い、人を愛する」という言葉通りではありますが、天は天命。自分の使命や職場で果たすべき役割をしっかりと意識し、ケアの質の向上を目指し、存在価値を見出せるような仕事を仲間達と一緒に取り組み、ご利用者を大事にしていく。	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 ・入居者一人ひとりの想いや背景を汲み取った「らしさシート」を全入居者（120名）分作成。らしさシートを活かしてお誕生日会の実施を行うことができた。 ・機能訓練指導員にて居宅訪問を行い、改善可能な生活動作の把握を行い、ご利用者の今の暮らしを継続できるような支援を行うことができた。	
②組織力の強化 ・理念研修は主任、副主任以上が講師となり、理念浸透研修の実施。スケジュール通り全て実施。個人編後半まで終えることができた。 ・部下の育成では、個々が望む学びたいことにフォーカスし、ユニットリーダー全員が行きたい外部研修の受講。ES調査でも5%ではあるがモチベーション向上に繋がった。	
③採用力の強化 ・外国籍職員の受け入れの強化。マニュアルの作成を行い、8名の特定技能実習生の入職へ繋げる。外国籍職員は全員で15名となる。アンケートでも指導面等も含めて良いという評価を頂くことができた。 ・ボランティアの受け入れ年間10名以上を掲げ達成。インターンシップも行い、最終先行まで繋がった実績あり。	
④生産性の向上 ・ヴォクセラのカメラ5台を導入し、今までセンサーが反応せずに事故があった等の案件をいち早く気付くことができています。また、職員の不安軽減に繋がり、カメラがあることで安心して働く環境を作ることができた。 ・3階に入浴リフトを設置。約月2時間程度の業務効率に繋がった。	
⑤収益力の向上 ・GG式ケアプログラムゴールドを目指し、口腔体操が全ユニット行えるようになった。 ・お泊まりリハビリ(ショート)の受け入れ開始。年度後半にはなるが稼働率に貢献。稼働向上に繋がった。 ・生ゴミ処理機ゴミサの導入を行い、月2万円程度の削減に繋がっている。	
⑥地域貢献 ・夏祭りや翔裕園の日では福祉体験、相談会の実施を行った。福祉授業、福祉体験を行うことで小学生たちの福祉への興味関心へ繋げ、車椅子の修理等、小学生達が自主的に行ってくれるようになったと先生方より連絡頂く。 ・月一回の子ども食堂、定期的な介護予防教室、オレンジカフェの実施。	
【全体総括】 稼働率に関しては前半落ち込んでいた部分を後半で取り返す形になったが、あとわずか目標に届かない形になってしまったため、営業活動や待機者を作る仕組み化をもっと早めに構築すべきであった。全ての取り組みに置いて予定通りの実行を行い、達成できたことの方が多いが、口腔ケアプログラムのゴールド認定やES調査での「仕事への誇りを持つ」の結果60%以上は達成できていない。2つがなぜ達成できなかったかを分析し、次年度に繋がれることが重要。できていないことができないままではなく、次年度で「できる」に繋がれるように管理していく。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R5 実績	94.0	92.9	95.8	96.1	97.2	93.8	93.8	94.1	95.3	92.6	96.8	95.1	94.8%
	R6 目標	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5%
	R6 実績	91.3	93.7	92.0	93.5	93.0	93.2	95.8	97.5	96.2	97.3	96.6	95.8	94.7%
通所	R5 実績	90.3	90.2	90.5	91.0	87.4	88.3	93.2	95.7	92.4	95.5	92.9	91.9	91.6%
	R6 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0%
	R6 実績	98.8	99.8	99.3	93.5	93.8	97.6	95.7	95.7	95.9	93.0	89.3	98.1	95.9%

令和 6 年度 第 29 期 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
国見ナーシングホーム翔裕園

令和6年度 国見ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針

- ①老健強化型算定、看多機&SSの黒字化
- ②一体化運営による効率化等

施設年度目標

老健としての機能強化→加算型から強化型へ移行！要となる在宅復帰率・ベッド回転率の達成は在宅事業のデイ・SS・看多機をフルで活用していこう！

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

・くにみ式包括ケアの深化・推進について・・・「くにみ翔裕園」と繋がりながら安心して生活できる支援が浸透しました。入所は実利用者10名が入所と在宅の往復する形で利用され、他長期退所後13名は長期退所後に、デイケア・SS・看多機・訪リハなど、個々の状況に応じた在宅サービスへ繋げることができました。

②組織力の強化

・職員研修や主要委員会をNH、あおば合同で開催する事で両施設の職員が顔を合わせる機会を多く持つ事や、個々の業務知識の向上に繋がっています。
・新卒職員の指導は、担当職員を中心にコーチングを意識して行いました。特定技能2名（ベトナム）はご利用者との関わりや、業務を行なう中で職員とのコミュニケーションを通じ、日本語能力だけではなく介護技術や知識も向上しています。

③採用力の強化

・全員人事にて地域包括支援センターに在籍していたケアマネ2名を採用。採用後は、居宅CM・施設CMへ配属し、即戦力として従事しています。
・カitek利用勤務者への促しで介護職員2名を紹介料等かけずに直接雇用へ繋げる事が出来ました。

④生産性の向上

・リフト等の必要な道具を導入しつつGG式ノーリフティングに基づき研修を行う事で職員へ周知を行った結果GOLD認定を取得する事が出来ました。
・老健と単独ショート間で5名の異動を行なった。ジョブローテーションを行なうことで、各事業所の活性化に繋がり職員のスキルアップや適性を発見することが出来ました。

⑤収益力の向上

・6月より強化型老健としての算定を開始し、9月の目標を前倒しで達成するとともに、加算においても上位を算定しています。デイケアでは年間稼働率79.6%と目標に届かなかったものの、客単価向上により予算達成率97%を達成。訪問リハは職員退職により新規受け入れ困難の影響で年間平均稼働率74.7%にとどまりました。一方、居宅では第3Qより2名体制から3名体制へ移行し、新規利用者の獲得に注力した結果、10月以降の給付管理件数の増加とともに目標値を達成しています。
全体収益 前年度比+20,379,344円達成！！

⑥地域貢献

・毎月の介護予防教室や出前講座の開催を通じて、地域の関係各所との顔の見える関係を構築しました。また、地域包括主催のアウトリーチ事業を共同開催し、高齢者の「フレイル」予防の啓蒙活動を推進しました。インボディによる体組成検査が好評を博し、リピーターが増加。「困った時は翔裕園」と頼られる存在となるべく、地域の守り人として奔走した1年でした。

【全体総括】

・目標に定めたことが形になった1年でした。老健においては、加算型から強化型へ目標よりも早く移行し、NHとあおばの一体化運営では、介護職員の異動や、行事、各委員会活動の共同開催が標準化され、職員交流も促進されています。地域貢献についても、活動回数が増えたことで、顔の見える関係性が構築され、お声掛け頂く機会も増えてきました。このことは、各事業においても良い影響を及ぼしております。残念ながら、稼働率が目標値に届かない部分もありましたが、利用に関する相談は増えており、予算達成率で見ると、各事業ほぼ目標を達成する事が出来ております。次年度は更なる飛躍を遂げる為にも、目標数値の達成は必須とし、生産性の向上、職員のレベルアップを図り、地域No1を目指して参ります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R5 実績	94.9	93.9	96.9	96.5	93.6	93.4	95.7	94.1	96.6	96.5	97.2	96.8	95.5%
	R6 目標	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97.0%
	R6 実績	93.5	93.4	89.9	96.2	92.1	91.9	91.7	89.1	90.6	96.4	95.9	97.1	93.2%
通所	R5 実績	93.9	97.5	97.9	97.9	87.3	89.0	79.1	78.8	73.7	70.3	72.5	73.6	84.3%
	R6 目標	82	83	85	86	86	86	86	86	86	84	84	86	85.0%
	R6 実績	77.5	77.3	80.3	80.8	81.6	82.2	83.7	84.9	79.6	75.7	75.3	76.3	79.6%
訪リハ (件数)	R5 実績	89.7	97.1	91.7	88.9	78.3	84.1	79.5	84.8	85.7	93.3	93.6	82.5	87.4件
	R6 目標	88	88	88	88	88	88	88	88	70	70	70	70	82.0件
	R6 実績	78	84.8	90.8	84.5	78	75.4	70.5	68.3	66.7	62.5	66.5	70.6	74.7件
居宅 (件数)	R5 実績	66.0	65.0	66.0	64.0	67.0	70.0	70.0	68.0	69.0	64.0	68.0	70.0	67.3件
	R6 目標	61.9	63.9	64.2	66.2	68.2	68.5	70.8	72.1	74.4	75.7	77.7	80	70.3件
	R6 実績	56.7	58.2	62.5	64.2	60.1	63.1	64.9	73.7	75.9	80.1	80.1	90.1	69.1件

令和 6 年度
第 20 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
仙台市亀岡老人福祉センター

令和6年度 亀岡老人福祉センター 事業報告

施設基本方針

【今日は昨日よりも良くなり得る、明日は今日に優る】を基本に据え、
”しあわせのハッピーウィルスをまき散らしましょう！”をスローガンとして活動します

施設年度目標

- 1、ハッピーばーてい誕生会を中心に参加者増を図ることでセンター全体の利用者を拡大します
令和6年度誕生会参加者目標＝430名（昨年度誕生会参加者361名の10%増）
2、センターで活動する団体の活動を活発化しセンター全体の利用者を拡大します
令和6年度合計来館者数目標＝14,300名（令和5年度利用者13,000名の10%増）

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・ハッピーばーてい誕生会は他のセンターの追従を許さないイベントです。これを毎回進化・改良し参加者を拡大します
結果:667名の参加がありました。昨年度388名の172%でした
・センターで活動する趣味の教室、愛・同好会への働きかけを強化し利用者全体の底上げを図ります
結果:年間利用者は15,539名で昨年度13,197名の117.7%でした

②組織力の強化

組織力＝組織としての問題解決力と捉えます
 そのための方策として、職員個人の資質向上を目指します。(問題の分析・解決案立案・解決案実施・見直し)所謂P・D・C・Aの実践です
結果:ある利用者からの問題提起がありました。職員全員で何度も議論し、年度を超しましたが間もなく解決の予定です。

③採用力の強化

採用力＝離職のない職場＝魅力ある職場、働きがいのある職場、自分を高みに持ち上げてくれる職場に作り上げることで強化して行きます

- ・有給休暇の取得率50%を目指します

結果:有給休暇取得率は44%でした

④生産性の向上

各業務の意義を明らかにし、職員が進んで生産性向上に努力する方向性を出します
各種業務を細分化し改良点を明確にして改善します
生産性向上の成果は利用者に還元する原資となることの意義を理解してもらいます
結果:生産性向上を仕事を早く終わらせることだと短絡的に考えてしまう傾向もありますが、継続して進めてまいります

⑤収益力の向上

収益は定額の指定管理料であるので、上記④の生産性向上の成果(資金的有余)をいかに充当します

- ・利用者の利便性向上
- ・設置57年目の老朽化した施設の修繕や備品の更新

結果:生産性向上などの成果(資金的有余)を昨年の元気グループ50周年に合わせて利用者へ還元しました

⑥地域貢獻

- ・地域夏祭りへの協力: 8月17日の納涼盆踊り大会に参加するとともに、屋台の食材を提供しました
- ・地域交通安全・防犯への協力
- ・亀岡駐在所とセンター情報の相互提供: 駐在所発行の「亀岡だより」を毎月館内に掲示しています
- ・川内コミュニティセンターまつりの協力: 11月10日にコミセンまつり参加者への景品を提供しました

【全体総括】

ハッピーばーてい誕生会の参加に注力した結果前年比297名増の667名(172%)でした。誕生会の内容を再検討し、誕生者と誕生者が所属する教室への働きかけが功を奏したと考えられます。また、新型コロナの扱いがインフルエンザと同じ第5類に格下げになったのも利用者増の一因です。ただ、利用者が増えると問題意識のある利用者も現れ、新しい問題と取り組む必要が出ており、職員同士の連携、意識の強化が求められることとなります。問題の細分化と分析そして多面的な解決策の検討なども重要となり、或る意味では職員の資質向上に役立っていると考えます。

年間数値目標と実績(利用率)※以下は該当項目がありませんので、無記入です

[illegible]

令和 6 年度
第 9 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
国見あおば翔裕園

令和6年度 国見あおば翔裕園 事業報告

施設基本方針

- ①老健強化型算定、看多機&SSの黒字化
- ②一体化運営による効率化等

施設年度目標

・老健としての機能強化→加算型から強化型へ移行！要となる在宅復帰率・ベッド回転率の達成は在宅事業のデイ・SS・看多機をフルで活用していこう！

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

・くにみ式包括ケアの深化・推進について…「くにみ翔裕園」と繋がりながら安心して生活できる支援が浸透した。入所は実利用者10名が入所と在宅の往復する形で利用され、他長期退所後13名は長期退所後に、デイケア・SS・看多機・訪リハなど、個々の状況に応じた在宅サービスへ繋げることができた。

②組織力の強化

・職員研修や主要委員会をNH、あおば合同で開催する事で両施設の職員が顔を合わせる機会を多く持つ事や、個々の業務知識の向上に繋がっている。

・新卒職員の指導は、担当職員を中心にコーチングを意識して行なった。特定技能2名(ベトナム)はご利用者との関わりや、業務を行なう中で職員とのコミュニケーションを通じ、日本語能力だけではなく介護技術や知識も向上した。

③採用力の強化

- ・全員人事にて地域包括支援センターに在籍していたケアマネ2名を採用。採用後は、居宅CM・施設CMへ配属し、即戦力として従事している。
- ・カITEK利用勤務者への促しで介護職員1名を紹介料等かけずに直接雇用へ繋げる事が出来た。

④生産性の向上

- ・リフト等の必要な道具を導入しつつGG式ノーリフティングに基づき研修を行う事で職員へ周知を行った結果GOLD認定を取得する事が出来た。
- ・老健と単独ショート間で5名の異動を行なった。ジョブローテーションを行なうことで、各事業所の活性化に繋がりを職員のスキルアップや適性を発見することが出来た。

⑤収益力の向上

・看多機：R6年度より訪問体制強化加算の算定開始。特別加算算定者増や重度者受け入れにより平均介護度3.1となり、平均稼働率81.4%と目標未達ながら、前年度収益実績+419万、予算達成率97.5%。サービス活動増減差額122.8%を達成。

・訪看：看護師のSSヘルプ、看多機訪看や事業所内処置により外部受注が難しい状況続き、通年で1名の利用に留まった。

⑥地域貢献

・毎月の介護予防教室や出前講座の開催を通じて、地域の関係各所との顔の見える関係を構築した。また、地域包括主催のアウトリーチ事業を共同開催し、高齢者の「フレイル」予防の啓蒙活動を推進した。インボディによる体組成検査が好評を博し、リピーターが増加。「困った時は翔裕園」と頼られる存在となるべく、地域の守り人として奔走した1年であった。

【全体総括】

・目標に定めたことが形になった1年だった。老健においては、加算型から強化型へ目標よりも早く移行し、NHとあおばの一体化運営では、介護職員の異動や、行事、各委員会活動の共同開催が標準化され、職員交流も促進されている。地域貢献についても、活動回数が増えたことで、顔の見える関係性が構築され、お声掛け頂く機会も増えてきた。このことは、各事業においても良い影響を及ぼしている。残念ながら、稼働率が目標値に届かない部分もあったが、利用に関する相談は増えており、予算達成率で見ると、各事業ほぼ目標を達成する事が出来ている。次年度は更なる飛躍を遂げる為にも、目標数値の達成は必須とし、生産性の向上、職員のレベルアップを図り、地域No1を目指していく。

年間数値目標と実績(利用率)

[illegible]

令和 6 年度 第 21 期 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元氣村
南方ナーシングホーム翔裕園
南方グループホーム翔裕園

令和6年度 南方ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針	
地域の方々を幸せにする場所、地域ナンバーワンとなる ～不可能を可能に変える、できる理由を考え続ける～	
施設年度目標	
①稼働率安定で収益達成率を達成 ②在宅強化型維持と超強化型への挑戦 ③職員の定着 ④外国人材の受け入れ増員と定着 ⑤社会貢献、地域の模範施設として地域へ恩返し	
重点項目に対する実績報告	
差別化/付加価値 ・皆勤スタンプカード導入により、キャンセルの振替を希望される方の増加に努めることが事が出来た。 1Q：37名 2Q：37名 3Q：43名 4Q：42名の方が皆勤賞を受賞している。振替希望者140件	
組織力の強化 ・研修に特化したHR推進委員会を設置。各責任者が委員として、compassの重要性の理解や管理、実施方法の検討を行ったが、実施までは至らず。	
採用力の強化 ・採用/教育に特化したHR推進委員会を設置。委員メンバーで採用に向けた学校訪問を5箇所実施。新規学校へも訪問を行い施設PRを行った。職業訓練/就職支援の会社へ就職説明会へ参加。施設PRの実施、別日に施設見学を行った。	
生産性の向上 ・生産性向上委員会を設置。各課より導入希望の情報を吸い上げを行い、福祉機器展や最新機器の情報提供を行っている。 今年度、見守りセンサー50台増大。新規加算の算定までには及ばず、次年度算定できるよう体制を組んでいき、後に上位加算も視野に入れ、委員会内でも要件の確認や体制を構築していく。	
収益力の向上 ・月2～3名の在宅復帰者の確保を行いベッドコントロールし。在宅復帰率の確保を行うことができ、在宅強化型継続算定することができた。またベッド回転率10%となり、目標を上回り12月より超強化型の算定を行うことができた。	
地域貢献 →12月21日 社会福祉事業向上と地域福祉の振興に貢献したとの事で、社会福祉協議会より表彰を受ける。 ・12月20日登米市長寿介護課より登米市第1号となる「チームオレンジ認定書」授与	
【全体総括】 入所稼働率目標93.0%に対し87.2%と5.8%未達であったため収益予算比が大きな乖離となった。稼働率向上の為に圏域のマーケティングを実施し、営業先を選定し営業を強化している。問い合わせ件数が増に繋がっていることから、次年度も引き続き強化していき、稼働向上、安定に繋げていく。 在宅強化型算定に関しては安定して継続算定できている。引き続き月2回(初旬/中旬)のMTGを実施、全課で数値管理算定を継続していく。12月より目標を上回り超強化型の算定を行うことができたため次年度は超強化型も視野に入れる。 地域貢献としては地域イベント、行事にボランティアとして参加、教育機関との合同イベントを実施し前年度よりも内容の幅を広げて、企画、実施をしている。このことにより、南方翔裕園を知って頂く機会を増やし地域に根付いた施設として定着してきている。 次年度も引き続き地域イベント、行事への参加、教育機関との合同イベントを実施し貢献と共に施設PRにも繋げ、集客、職員定着、地域で一番魅力のある施設となるよう、職員一丸で取り組んでいく。	

年間数値目標と実績（利用率）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R5 実績	89.2	87.1	81.7	84.1	81.2	82.9	87.3	89.7	96.7	92.3	92.8	91.0	88.0%
	R6 目標	93.0	93.0	92.0	94.0	93.0	92.0	93.0	94.0	94.0	92.0	93.0	93.0	93.0%
	R6 実績	84.8	82.5	80.0	82.3	87.2	91.0	87.6	89.6	93.3	92.7	85.9	90.0	87.2%
通所	R5 実績	91.1	90.9	89.6	86.2	81.4	81.0	85.1	81.8	84.4	84.0	77.6	87.0	85.0%
	R6 目標	85.0	86.0	87.0	88.0	88.0	89.0	89.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	88.5%
	R6 実績	86.4	86.4	86.4	86.3	85.5	86.0	87.5	88.1	89.6	81.4	89.7	89.1	86.9%
訪リハ	R5 実績	9	9	8	8	8	9	9	10	10	13	14	13	10.0件
	R6 目標	12	12	12	13	13	13	14	14	14	14	15	15	13.4件
	R6 実績	10	10	10	11	11	11	13	13	14	13	13	13	11.8件
居宅	R5 実績	103	96	91.5	91.5	91.5	89	92	94.5	87.5	91.5	91	91	92.5件
	R6 目標	91	91	92	92	92	93	93	93	94	94	95	96	93.0件
	R6 実績	90	96	74	63	64	60	60	65	61	62	65	66	68.8件
グループホーム	R5 実績	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	100.0	98.2	98.2	100.0	100.0	99.6%
	R6 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0%
	R6 実績	100.0	100.0	100.0	95.9	100.0	100.0	96.8	88.5	94.1	98.6	100.0	100.0	97.8%

令和 6 年度
第 17 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
ケアホテルすみさん家

令和6年度 ケアホテルすみさん家 事業報告

施設基本方針	
地域社会への貢献と組織として社会的な使命を果たす	
施設年度目標	
1. 選ばれる施設として、健全な施設運営を行う。 2. 職員それぞれがリーダーシップを発揮し、組織全体を鼓舞するとともに、個々の職員が成長しやすい環境をつくる。	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 ・認知症状の重度化が進む中、新規利用者の受け入れについて、認知症の方に対応し、なかなか話の理解が得られない方や帰宅欲求の強い方等の受入れを行っています。 ・認知症介護実践者研修の受講について、職員体制が整わず、派遣できなかったため、次年度に行います。	
②組織力の強化 ・理念の浸透について、「感動介護憲章」や「共に生きる」ことについて、会議にて確認を行ってきました。 ・compass研修については、上半期には実施できませんでしたが、職員体制が整った10月に支援本部の鈴木様に来秋頂き、実施することが出来ました。	
③採用力の強化 ・10月15日まで、宮城、埼玉の施設より業務支援・職員派遣いただき、ありがとうございました。上半期3名、下半期3名介護職採用出来ました、事務員、栄養士、看護師の退社あり、また介護職1名長期入院で、たかのす翔裕園よりの応援職員対応継続中です。7年度、相談員とたかのす訪問管理者の配置換え、また、4月、5月で、ハローワーク、全員人事他より、事務員、看護師、相談員(介護、夜勤可能)採用見込にあります。	
④生産性の向上 ・夜勤勤務について、応援職員の方々でお願いしてきたが、10月より採用職員等6名で可能となり、指導育成をすすめている。 ・また、運営指導により、職員の不足等で行政への届出不備から、減算指導を受けてしまいました。大変申し訳ありませんでした。 ・業務支援職員の意見、新入職員の気づき等をくみ上げ、より良いケアができるよう業務マニュアルを随時更新、向上に努めている。	
⑤収益力の向上 ・看護体制加算の算定について、看護師の退職等あり、常勤勤務が安定的でなかったため、実施出来ませんでした。 ・病院受診の送迎を病院までの距離に合わせて有償とし、収益増となりました。	
⑥地域貢献 ・「あんしんネットワーク」創設に向けて、地元自治会長をはじめ地域の方々とのコミュニケーションを取り、賛同を頂き、協定締結しております。 ・納涼祭を東北ブロックの皆様の協力を頂き実施、地域の方々や取引事業所、ご利用者ご家族様に参加いただき、大成功となりました。	
【全体総括】 ・収益73,100千円実績、目標比-6,000千円 たかのす翔裕園との一体化事業推進元年として、取り組みましたが、職員確保が遅れたこと、コロナ、インフル施設内感染また、入院や特養入所も相次ぎ、未達となりました。 稼働率90.6%実績、目標比-7.4% 施設の修繕費用、除雪費用、職員採用に伴う紹介料等で、経常大幅マイナス実績となりました、大変申し訳ありませんでした。7年度、一体化での営業体制で、満床を目指し、取組んでいきます。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
短期	R5 実績	100.0	90.3	98.8	100.0	99.7	100.2	99.8	95.3	100.0	100.0	100.0	94.5	98.2%
	R6 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0%
	R6 実績	96.2	94.5	82.0	89.7	90.5	91.3	83.5	89.0	91.6	84.7	95.9	98.5	90.6%

令和 6 年度
第 11 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
たかのす翔裕園

令和6年度 たかのす翔裕園 事業報告

施設基本方針

開設10周年、仲間が施設で過ごしたい、働きたい施設に変革する1年とする。

施設年度目標

1. 重点課題、職員採用を図り、常に入居者・待機者獲得できる営業体制を確立すること。
2. 職員定着を図るため、打ち合わせ、研修、親睦会等で働きやすい職場づくりに努める。
3. 自治会や取引先とのかかわり、行事等連携を図り、地域に必要とされる施設を目指す。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・上半期、人員不足解消が遅れ、管理者現場対応状況も、10月支援本部・鈴木様や佐藤副ブロック長の協力を頂き、すみさん家と合同にて、compass研修を実施できております。
- ・看護師パート9月採用の方、R7.2月退社も、新たに1名採用でき、2月以降、入居者の体調管理、入院防止出来ています。
- ・施設内環境整備、感染対策、清掃の1日2回徹底等が出来てきましたので、職員への研修を行い、継続していきます。

②組織力の強化

- ・すみさん家との一体化の中、会議、打ち合わせ、ケアキャンパス受講が6年度後半より、出来てきております。
- ・職員との食事会も、10月以降、2か月毎実施で、職員の意見等を聞き、職員の定着に努めています。
- ・賃金改定より、採用情報が増加しており、今後面談にて、良い人材の採用で、組織力の向上につなげます。

③採用力の強化

- ・全員人事、ハローワーク、紹介会社で、上半期4名採用も、体調不良等で3名が短期退社で増員となりませんでした。
- ・一体化の中、すみさん家と連携、情報を共有しながら、採用に繋げていきます。

④生産性の向上

- ・7, 8月で相談員、サ責職員退社あり、又、厨房欠員対応等、営業体制の整備が遅れ、収益確保が出来ませんでした。
- ・また、10月後半から11月は施設内コロナ感染、12月は離設事故等あり、収益増加とはなりません。

⑤収益力の向上

- ・上半期2名、下半期10名の新規入居契約も、退所15名(上半期5名、下半期10名)あり、収益向上となりませんでした。
- ・支援の方の入居も平均3名あり、介護保険利用率は年度末、68.4%の実績に留まりました。
- ・食費改定について、食材仕入れ実績等検証より、第四四半期で、改定・値上げと判断、R7.5月より、1日1,500円→1,700円に改定となります。

⑥地域貢献

- ・8月納涼祭、東北ブロックの皆様の協力を頂き実施、地域の方々や取引事業所、入居者、ご家族様に喜んで頂きました。
- ・10月は、翔裕園の日、すみさん家と合同にて行い、施設アピールに繋がりました。
- ・自治会、北秋田市や地元有力者への訪問、交流会、イベント等の行事にも、積極的に参加いたしました。

【全体総括】

- ・収益 63,300千円実績、目標比-16,800千円 すみさん家との一体化事業推進元年として、取組みましたが、職員確保が遅れたこと、コロナ、インフル施設内感染や離設事故等で、退所者のカバーまで行かず、未達となりました。
- ・稼働率76.1%実績、目標比-17.9% 収益不足、除雪費用、紹介料等で、経常大幅マイナス実績となりました。大変申し訳ありませんでした。4月より、すみさん家より相談員配置換えで、各事業所への計画的営業、毎月イベント実施等を進め、9月までに満床を目指し、取組んでいきます。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
有料	R5 実績	95.8	92.9	91.8	86.5	95.2	96.2	96.1	89.6	91.2	92.9	95.6	88.6	92.7%
	R6 目標	87.0	90.0	93.0	94.0	96.0	95.0	96.0	96.0	96.5	96.5	94.0	94.0	94.0%
	R6 実績	84.0	81.0	82.1	78.9	71.4	71.4	69.7	70.1	76.6	71.6	80.1	76.6	76.1%
訪問 介護	R5 実績	89.4	86.7	85.7	79.4	88.1	89.8	88.7	87.0	86.6	85.3	89.1	82.7	86.5%
	R6 目標	84.0	86.0	87.0	88.0	89.0	88.0	89.0	89.0	90.0	90.0	88.0	88.0	88.0%
	R6 実績	89.4	74.4	75.8	71.6	66.7	66.3	61.7	63.1	64.0	69.8	73.5	70.6	68.9%

令和 6 年度
第 10 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
くまもと龍田翔裕園

令和6年度 くまもと龍田翔裕園 事業報告

施設基本方針	
スタッフ自らが楽しみを持ち、また来たいと思われる施設作りをする。	
施設年度目標	
コミュニケーションの充実を図り人員の安定に努める。	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 ・イベント力の強化 ・イベント時には5名の追加利用を募る 現在イベント時利用の登録者が10名ほどいる状況です。毎回声掛けを行い、実際利用される方が平均3～4名程度。目標の5名にはあと少しというところです。今後も継続し、この方たちをイベントのみから定期利用に移行していけるように動いていきます。	
②組織力の強化 ・リーダー、サブリーダーとのミーティング開催(毎週月曜日) 小まめにミーティング開催できました。ミーティングを行うことで現場の声をきき業務内容の変更に移せました。今後は改善してどうだったかの後追いをしていきます。	
③採用力の強化 ・ハローワークにて中途採用を募集と全員人事を活用し紹介会社に頼らない。 6年度は全員人事にて3名を採用。制度が定着してきたことと紹介したい職場づくりが進んできていると実感した。今後は定着していく職場づくりを目指していきます。	
④生産性の向上 ・タブレットやアプリに慣れる 6年度は記録・日誌・事故報告書をほのぼのに移行しました。書くより大幅な時間の削減になり、活動や委員会に時間を使うことが増えました。活動では、テーブルごとでの個別活動が以前より充実しました。 荷物チェックアプリの活用では目で見て確認できるので以前の紙より1日平均20分ほどの削減に成功しました。	
⑤収益力の向上 ・稼働を上げつためには人員の安定に努め、受入制限を行わない体制を作る。 人員は安定していた年でしたが3度のクラスターにより制限をかけざるを得ませんでした。今期は人員が安定していること、一人多いこともあり1・2階をうまく使い最小限の制限に努めたと思います。 ・新規獲得月15件を目標。 月平均13件と未達でした。相談はあるものの契約に繋がらないケースもあり、相談後の連絡に力をいれていこうと思います。	
⑥地域貢献 ・イベント時に家族や地域の方に参加していただく。 納涼祭は近隣の方、敬老の日は家族、翔裕園の日はケアマネと対象を変えイベントに参加していただきました。 中学生の職場体験にも積極的に受け入れ行っています。今後も継続していき開かれた施設を目指していきます。	
【全体総括】 ショートは目標稼働は未達でしたが、前年度より平均稼働が7%アップしました。人員の安定を図りながら、感染予防に努め受入制限をかけない運営をしていきます。1階をうまく活用し、運営を止めないということにも力をいれていきたいです。 居宅は開設1年目でした。スタートが遅れてしまい、目標には遠いものとなりましたが、現在行っている包括、連携室への対面営業、包括主催の連絡協議会参加を継続していきます。今後は相談会の開催し、近隣の方への知名度アップに動いていきます。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
短期	R5 実績	82.0	85.0	77.0	84.4	74.0	78.0	82.7	94.0	89.0	87.5	87.0	93.0	84.5%
	R6 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0%
	R6 実績	91.2	92.9	93.4	88.3	96.5	94.7	88.7	99.3	95.1	87.4	83.6	87.0	91.5%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
居宅 (件数)	R5 実績													-
	R6 目標	4	8	12	18	22	26	30	36	42	48	54	60	30.0件
	R6 実績	0	0	0	3	22	24	25	24	30	32	34	38	19.3件

令和 6 年度
第 8 期
事業報告書

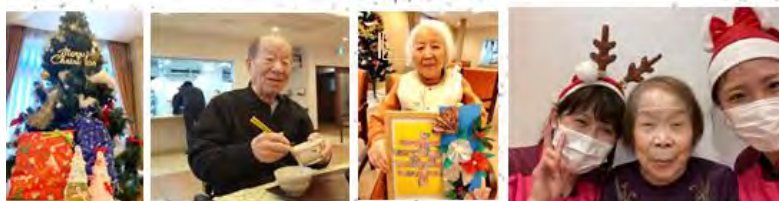
自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



幸せは人それぞれ



あなたの幸せを



応援いたします



社会福祉法人元気村
西原ケアタウン元気村

令6和年度 西原ケアタウン元気村 事業報告

施設基本方針

その人らしく生きがいを持った暮らしが実現できる施設運営

施設年度目標

- ①入居者様一人ひとりが快適に楽しく過ごせるようなサービスの提供
- ②通所・訪問 新規利用者の獲得
- ③有料 要介護者の早期満床

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

地域やご家族とのつながりを重視し、年間6回のイベント(周年祭、夏祭り、新年会など)を開催。家族や地域住民に施設を身近に感じてもらい、交流の場としての取り組みを積極的に実施しました。また、12月以降は毎週1回、本格的な食イベントを実施。普段と異なる「特別な日」を演出し、利用者の楽しみと満足度向上に繋げました。
看取りケアでは、往診医や訪問看護と連携し、希望される方への対応を実施。1名の看取りを提供し、今後は職員研修を通じてさらに質を高めていくことが課題です。

②組織力の強化

ES調査結果より「仕事への誇り」「職員同士の関係性」についてそれぞれ前年比でマイナス。(仕事への誇り-2.6%、職員同士の関係性-0.8%)。職員とリーダーとの面談について、目標としていた2月ごとの面談が計画通りに実施できず、随時対応となってしまったこと。全体会議や各種委員会も内容を十分に検討して行うことが難しく、形式的な開催にとどまったことが反省点です。理念研修はブロック合同含め年2回実施し、意識づけを継続。部署内の会議は定例化できた一方で、部署を超えた連携強化が次年度以降の取り組みとして、職員全員で年間計画の周知、開催、改善を行うことが次年度以降の課題です。

③採用力の強化

SNSによる施設の魅力や日常の様子の積極的な情報発信を継続実施。また、WEB求人は毎月、ハローワーク等の求人媒体は3ヶ月ごとに内容を見直し・更新し、他事業所の情報も参考にしながら、熊本市内の動向に合わせた最低賃金の調整(引き上げ)を行いました。スポットバイトの活用により、夜勤専従者3名を直接雇用へと繋げることができ、必要な時間帯を補う採用として効果的でした。
また、職員紹介制度「全員人事」を活用した結果、3名の新規採用に至り、必要なシフト・時間に応じた人材確保が概ね実現しました。

④生産性の向上

ICT活用による業務効率化を実施。手書きでの記録からタブレットへの移行を行い、通所・訪問サービスにおいて記録時間の短縮を実現しました。今後はさらに予定、実績の突合に時間を要することで、サ責、相談員の業務負担軽減が課題となっています。
人材配置について非常勤職員(入浴介助・夜勤専従)の採用を進め、常勤業務に集中できる体制を整える方針でしたが、目標人材確保には至らず、部門、職種兼務を行い最小人員で事業運営を行う体制としました。今後も引き続き、職員体制の見直しと採用強化が必要です。

⑤収益力の向上

施設の魅力向上と営業活動の強化に取り組みました。エントランスや相談室など、外部からの印象に関わる共有スペースの環境改善を実施し、来訪者にとって好印象となる空間づくりを進めました。普段気づきにくい細部にも目を向けた整備を行い、施設全体の雰囲気向上に繋がりました。営業活動を大幅に強化。営業件数は月平均23件から87件へと増加し、積極的な訪問営業を実施しました。広報資料も見直し、毎月のイベント内容や月間スケジュールを掲載したわかりやすいチラシを作成し、活動内容を具体的に発信しました。
また、SNSの活用を本格化し、施設内の取り組みやイベントの様子を発信。病院や居宅への月間定期訪問も継続し、地域との連携と施設認知度の向上を図りました。
実績面では、通所部門の新規利用者獲得は目標(月3件)に対し年間4件と大きく未達成。入所相談については主にWEB紹介を中心に、病院・居宅からの問い合わせが月平均3件に増加し、サ高住・住宅型合計で年間36名の入所実績となりました。

⑥地域貢献

地域の一般の方向けに講習会を開催。マルシェの案内は小中学校全生徒、保育園全児童に配布。多世代に施設を知ってもらう機会の提供に取り組み、今後も継続予定です。
また、県のボランティア登録者ともつながりを持ち、地域との新たな交流が生まれました。

【全体総括】

①快適なサービス提供、②通所・訪問の新規獲得、③有料施設の早期満床を目標に取り組みましたが、収益・利益は大きく未達成となりました。主な要因は、職員不足によるサービス提供数の減少と、入所者の新規獲得の遅れ。特に上半期は営業が十分に行えず、下半期から営業・広報活動を強化し、認知度の向上や地域との接点を広げるスタートの年となりました。
地域交流イベントや講習会の開催、SNSを活用した情報発信、施設内環境の改善など、これまでと違う取り組みに積極的に取り組み利用者や地域住民との関係づくりには一定の成果がありました。
来年度、営業の継続強化と同時に、職員確保・育成、業務効率の改善を図り、目標達成に向けた基盤づくりを一掃進めてまいります

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	R5 実績	96.0	100.0	99.0	94.0	94.0	98.0	100.0	100.0	96.0	96.0	94.0	94.0	96.8%
	R6 目標	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0%
	R6 実績	90.0	94.0	98.0	96.0	96.0	94.0	90.0	91.2	93.2	93.0	93.4	91.2	93.3%
住宅型 有料	R5 実績													-
	R6 目標	10.0	20.0	35.0	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	64.6%
	R6 実績	0.0	0.0	0.8	20.0	33.0	35.0	35.0	49.8	57.6	55.2	55.0	50.0	32.6%
通所	R5 実績	95.2	96.1	60.4	71.3	77.5	78.0	85.8	86.9	76.6	83.3	87.0	82.1%	82.1%
	R6 目標	90.0	90.0	91.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	91.6%
	R6 実績	79.6	80.6	83.4	83.0	74.8	70.1	71.6	69.6	53.1	69.9	72.0	73.0	73.4%
訪問 介護	R5 実績	1099	1341	1390	1132	1279	1173	1128	1139	1197	855	1003	1071	1150.6件
	R6 目標	1,175	1,237	1,262	1,312	1,312	1,362	1,412	1,462	1,500	1,500	1,262	1,500	1358.0件
	R6 実績	1040	1113	1337	1291	1397	1507	1538	1678	1813	1798	1706	1900	1509.8件

令和 6 年度
第 2 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
くにさき翔裕園

令和6年度 くにさき翔裕園 事業報告

施設基本方針													
地域で一番目立つ施設になろう 「クレドの実践は地域すべてに適用です」													
施設年度目標													
・経営状態改善(黒字体質へ) ・ユーティリティプレイヤーの育成(職種にこだわりすぎない) ・地域イベントの中核的存在へ(多くのイベントに顔をだす)													
重点項目に対する実績報告													
①差別化/付加価値 ・地域イベントの開催：地域向けのイベントには力を入れることができた。地域の方からも立ち寄り易い施設となった。 ・認知症対応が得意な施設を目指したが、効果的な研修等の実施に至らず不足となる。													
②組織力の強化 ・「理念への共感」、「やりがいを持って働ける環境」の職員満足度55%以上。 ⇒理念への共感 42.9% やりがいを持って働ける環境 37.8% と目標に対しては未達。 ・ケアミーティング2回/月、厨房ミーティング1回/月（直接対面でのコミュニケーション機会を増やす） ⇒ケアミーティングは1回/週、厨房ミーティング以外の部署毎のミーティングも1回/月行えた。 ・親睦会の開催1回/3カ月 ⇒概ね達成（2024年度3回開催）													
③採用力の強化 ⇒福祉の就職フェアには参加したが、実績として雇用には至らず。ハローワークの他にジョブモデルなどのWEB媒体からの応募は増えて来ている。ただし、時間帯や曜日等の労働条件の合意が取れず、採用に至るケースはあまりなかった。今後の求人として、スポット的（時間や曜日など）な限定求人を積極的に行い、サービスの向上・採用力強化に繋がるように努めたい。													
④生産性の向上 ・入居者の生活スケジュールに対し、部署や職種にとらわれない業務、シフトを作り上げ全体のチームとして取り掛かる。 ⇒配置が不足する部署・時間帯に多職種であっても配置ができた。ただし、シフトに対する業務内容の紐づけが未達。 次年度はシフトごとの業務内容を整理し、職員の業務量の均一化を図る。 ・配置の重複をなくし、また時間外勤務50%減となる。 ⇒離職がまとまって発生したことで、時間外勤務削減には至らず。シフトごとの業務整理を行うことで、削減を目指す。													
⑤収益力の向上 ・要介護者の新規入居⇒年度末時点では38床の特定施設に対して38床と満床に至る。 平均介護度も、年度当初1.59に対して年度末では1.80。しかし、黒字経営に十分な収益には繋がらず、今後も介護度の引き上げ（区分変更や高介護度の方の優先入居など）が必要である。 営業については、市内中規模病院や居宅を中心に行うことで入居者獲得に至っている。 今後も顔繋ぎの営業は継続していく必要がある。住宅型については年度末時点で28床に対して20床と満床には至らず。稼働率目標も71.4%/年に対して、42.51%/年と未達となる。営業形態を10月から変更し、成果として12月～と上がってきているが、それまでの期間の実績が伸びずに今回の結果となった。今後も継続的な営業活動、集客活動が必要。													
⑥地域貢献 ⇒4月「さくら祭り」、10月「翔裕園の日」、11月「スカイランタンフェス」とイベントを重ねるごとに認知度も向上。 合わせて、多数の地域の方の来場もあり感謝の意を伝える機会にもなった。また、イベントを実施することで間接的な営業効果にも繋がったと考える。今後も、集客に繋がる各種イベントを継続的に実施予定。 地域の草刈りなどの活動も声をかけて頂けるようになり、地域社会の一員としての役割を担いつつあると実感できるようになった。その他にも、市社会福祉協議会の実施する就労準備支援事業での、就労困難者の就労体験受入れの実績など地域に貢献することができていると感じている。引き続き、地域との連携を深めながら信頼関係の構築に努めていく。													
【全体総括】 特定施設については、平均で33.4部屋の稼働で稼働率としては年間88.1%と大きく目標を下回った。年間延べ705日間の入院があり、年間1.93人の入院が常に発生している状況。主たる原因としては「肺炎・尿路感染」によるところが40%を超える為、これを未然に防ぐ取り組みを来期目標に設定。入居者数は年度末時点で満床となっているものの、平均介護度の低さから単月においても十分な収益には繋がっておらず、来期も区分変更等の対応する必要がある。 住宅型については、年末頃より早いペースで入居者の獲得に繋がっているが、年間では目標のペースを下回り、目標未達となった。営業の方法や頻度等の内容が薄かった前期を見直し、後期からの営業活動で実績が伸びて来た印象がある為、今後も現状の営業を続けていく必要がある。来年度当初の見込みとしては、4月入居予定が3名であり月末時点では契約数22件の見込み。予算積算では21名での計算であった為、予定を上回るペースではあるが満床には未だ至らずの為、早急に入居者募集の施策を展開し早期満床を目指す。サービス品質の向上を図るため、シフトごとの業務内容の紐づけについては急務で進めていく。													

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特定	R5 実績	84.8	89.9	94.0	97.0	98.8	86.8	83.2	88.7	88.6	87.7	90.7	88.1	89.9%
	R6 目標	94.7	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	97.3	96.5	94.7	97.3	96.5	94.7	96.2%
	R6 実績	84.1	83.2	86.8	84.6	85	84.4	88.8	89.7	90.2	93.9	92.1	94.7	88.1%
住宅型	R5 実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	6.4	9.1	10.7	10.7	10.7	14.3	20.2	7.3%
	R6 目標	25	35.7	46.4	57.1	67.9	78.6	89.3	92.9	89.3	92.9	92.9	89.3	71.4%
	R6 実績	22.5	32.3	42.5	42.9	42.9	41.9	38.5	35.5	40.4	48	59.4	64.1	42.6%

令和 6 年度
第 1 期
事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1日
至 令和 7 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
元気ケアプランニングセンターさいたま

令和6年度 元気ケアプランニングセンターさいたま 事業報告

施設基本方針	
大規模化と業務の効率化で新しい居宅のモデルとなる	
施設年度目標	
元気村グループの居宅として地域の認知度を高め、貢献する 居宅ケアマネの新しい働き方に積極的にトライアルし、モデルとなる	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値 どんな相談ケースでも断らないという姿勢で新規相談をうけている。困難ケースは管理者が優先して受けることで包括から相談先として認識されるようになりつつある。集合住宅のご利用者については同一担当者が受け持つことで、効率をup、訪問の頻度を上げられることで、ご利用者やご家族、施設職員にも安心感を高めてもらえるよう努めていく。	
②組織力の強化 8月から採用(異動)のメンバーの指導、業務管理、加算取得準備について必要な資料等整備の面で鴻巣居宅と情報連携を行った。チームズによるスケジュールおよび必要ファイルの共有を行い、遠方(鴻巣)を第2拠点とするメンバーとも必要な連携を取ることができていた。鴻巣拠点メンバーは異動となったが、ケアマネ3人の業務体制を確立することができた。	
③採用力の強化 支援本部の採用チーム、埼玉ブロック本部の協力を得て、新規ケアマネ採用1名(7月)、埼玉ブロック内異動1名(8月)で、計画通り3名体制。2月リファラル採用による候補者1名検討するが、機会あわず見送りとなる。	
④生産性の向上 情報共有を目的としたチームズなどの活用はできている。AIケアプラン(ミルモぷらん)の試験導入したがデータ入力方法に課題あり、現状単体では実用に満たず他ソフトとの連携を検討。nomanの活用により記録時間短縮の成果が出ている。	
⑤収益力の向上 ケアマネ3名体制を確保することで9月より特定事業所加算の算定を計画していたが、年度内は算定できていない。(令和7年4月より特定事業所加算Ⅲの算定開始となった)受け持ちプラン数も計画に満たなかったため、件数の向上を確実に行っていくべく営業活動を行った。北区地域包括、大宮区地域包括より継続的に依頼いただけるようになる(およそ6件~10件依頼あり/月:地域包括のみ)。今後も地域包括との関係構築を深めていくが、介護予防については単価が低いため、包括ごとに受け入れ上限数を設ける。(事業所で25名前後を上限とし、包括ごとのバラつきをなくす)。またグループ内施設からの依頼は優先的に対応する。ご利用者入退院時、病院との情報連携を密に行うことで医療機関との信頼を高め、退院時相談先として認識していただけるように努める。	
⑥地域貢献 大宮区西部地域包括の地域講座の実施場所として、大宮オフィスのラウンジを無償で解放(3月5日:表紙写真イベント)。今後定期的に開催の打診あり(年4回)実施予定。地域包括支援センターからの紹介にて、地域NPO団体による、認知症介護者向け相談活動の協力要請あり、実施を検討中。	
【全体総括】 元気村Gの居宅として、地域のニーズをより広く獲得していくとともに、将来的なケアマネ人財不足を想定した、居宅の大規模化のモデルとして新たな働き方(DX推進、直行直帰モデルなど)の採用を含めて様々なトライアルを今年度も行い、しっかりと具体化できるよう進めていく。また、帳票類のチェックなども、埼玉ブロックの他の居宅事業所との連携で相互牽制をしっかりと行う。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
居宅 (件数)	R5 実績													-
	R6 目標	23	32	48	59	70	103	50	60	70	80	90	100	65.4件
	R6 実績	3	7	18	31	29	40	42	44	62	66	73	75	40.8件